

地域社会との緊密な連携を築く

## 地域とともに子どもの成長を支援するPTA活動

大府市立大府中学校PTA

### 1 はじめに

本校は、大府市の中心部に位置し、創立78年目（昭和21年開校）を迎える。校区は、JR大府駅周辺の市街地である南部地域と田や畑に囲まれ自然の多い環境の北部地域からなる。生徒数は863名、学級数27（うち特別支援学級3）の大規模校で、校訓「親和」（互いに仲良く、助け合い、尊重しあって素晴らしい学校をつくろう）のもと、生徒一人一人が輝く学校を目指し、教育活動を進めている。



【大府中学校全景】

加えて、校区内のコミュニティが中心となり、家庭・学校・地域が連携し、本校の生徒を育て支えるための様々な取組が活発に行われている。これまでも、2万人を超える卒業生の多くが、地域を支える存在として、それらの取組を積極的に推進し、地域に根付かせる役割を果たしてきた。

### 2 研究への取組

#### (1) 研究のねらい

本校PTAは、「保護者と教員が協力し、家庭・学校・社会（地域）における健全な教育の振興をはかり、生徒の幸福な成長を増進すること」を目的として活動している。生徒の健全育成を目指し、コミュニティとの連携を重視して、PTA委員が地域の行事や取組の運営に積極的に携わり、以下の2つの活動を柱として、実践に取り組むこととした。

- 生徒の安全を守る活動
- 豊かな体験を通して心を育てる活動

#### (2) PTA組織

##### ① PTA委員会

本校のPTA組織は、会長をはじめとする役員で構成する常任委員会と全委員で構成する委員会で運営されている。常任委員会が中心となってPTA活動の企画を行い、委員会では、バザー・除草作業などの行事の運営を行っている。

##### ② 専門部

全委員が3つの専門部に分かれて所属し、以下の活動を行っている。

文化部	…会員の学びを深める研修会・教養講座の計画・実施
広報部	…広報誌PTA新聞の発行（年2回）
生活部	… <u>コミュニティへの参加</u> 、交通立哨の実施

(3) コミュニティに携わる活動

本校では、PTA生活部の委員が、コミュニティ（大府地区・神田地区・東山地区）の部員として部会（環境・家庭教育・体育・健康・広報）に所属し、行事や活動に参画している。主な活動は以下の通りである。

**環境部会**…地域施設の花の苗植え・世話、夏祭りの環境美化

**家庭教育部会**…あいさつ運動・愛のパトロール

**体育部会**…コミュニティ運動会の運営

**健康部会**…コミュニティレクリエーション行事の運営

**広報部会**…広報誌の作成

### 3 実践活動の概要

(1) 生徒の安全を守る活動

① 愛のパトロール

定期的に、地域一帯の防犯意識を高める活動として、コミュニティ主催の「愛のパトロール」が行われている。

毎月、コミュニティの家庭教育部員が地域を巡回し、防犯活動と合わせて、児童生徒の安全な下校のため、見守りを行っている。愛のパトロールとして地域住民から広く認識され、本活動は校区の児童生徒の安全な生活の確保と交通安全に大いに貢献している。



【愛のパトロール】

② 通学路の安全点検と市への交通陳情

大府市では、市PTA連絡協議会が中心となり、通学路の危険箇所の改善に積極的に取り組んでいる。

各校のPTAが、全会員に通学路の安全点検を依頼し、実際に現地に足を運んだ上で改善策を議論し、具体的な案として市へ陳情を行っている。



【交通陳情箇所（通学路）】

陳情を受けた市は、道路標識の設置や路面塗装、道路の改修など、必要な措置を速やかに講じ、児童生徒の登下校時の安全が守られている。

③ PTA除草作業

夏季休業明けに、PTA主催で校地の除草を行っている。暑い中、多数のPTA会員が参加し、校地の美



【PTA除草作業】

化に役立っている。本校の施設等は、地域の多くの子どもや大人が社会体育等の活動で利用している。生徒の生活環境の整備だけでなく、地域住民のために、PTA会員が汗を流し貢献している。

## (2) 豊かな体験を通して心を育てる活動

### ① あいさつ運動

大府市では、毎年5月と10月の0の日の朝に、市内一斉あいさつ運動を実施している。交通量の多い交差点や通学路で、市の職員・警察官・コミュニティに所属するPTA委員が立哨し、登校する生徒の見守りとあいさつ運動を行っている。地域の多くの大人とさわやかにあいさつを交わし触れ合う機会は、生徒にとって貴重な時間である。



【市内一斉あいさつ運動】

加えて本校では、年間を通じ、PTA生活部員が立哨活動を行い、生徒の通学路で安全な通学を見守っている。その際にも、保護者と生徒の間に明るいあいさつの声が響き合い、あいさつの輪が校区で広がるきっかけとなっている。生徒会も自主的に



【大中あいさつ運動】

「大中あいさつ運動」を展開し、各学級の代議員あいさつ部の生徒が中心となり、昇降口前で生徒同士のさわやかなあいさつが交わされるようになってきた。

### ② 地域行事でのボランティア支援

大府市のコミュニティは、生徒が豊かな体験活動を行う機会を積極的に提供している。加えて、生徒がボランティアとして参加できる活動の場も多く設けている。学校においても、ボランティアの意義を考えさせたり、地域の一員としての意識を高めさせたりすることを大切にしている。また、身近な地域の大人として、コミュニティ部員が活動前や当日に、直接指導・支援を行うことで、安心感を高め、生徒のボランティア活動への参加意識が伝統として根付き、多数の生徒が自ら応募し参加するようになっている。

#### ・大府夏まつり

大府市最大の夏祭りが8月第1週に行



【夏祭り会場の環境美化】

われている。祭り当日は、50名を超える生徒が、祭りのメインとなる盆踊りの太鼓演奏、来場者の交通整理、環境美化のための清掃などの活動にボランティアとして参加している。コミュニティ部員の指導・支援を受けながら、個々の役割を果たし、祭りの運営に貢献したことで、地域の中で多くの生徒が達成感を得る機会となった。

#### ・コミュニティ運動会

校区にあるコミュニティで行われる運動会では、コミュニティ部員がボランティアの生徒とともに運営の役割を担い活躍している。両者は事前打ち合わせ会にも参加し、協力して仕事に取り組んでいる。コミュニティ部員からは「大変だったけれど、中学生たちの一生懸命働く姿からエネルギーをもらい、地域のために働くことの大切さに改めて気付かされました。」という感想が聞かれた。



【運動会開始前の打ち合わせ】

### ③ 地域環境整備への参加

大府コミュニティでは年2回、春と秋に大府駅周辺の花壇に花の苗を植える活動を行っている。コミュニティと学校が連携し、ボランティアとして参加することを希望する生徒を募り、毎回50名ほどの生徒が参加している。コミュニティ部員は、マリーゴールドやサルビア等の苗の植え方の指導だけでなく、その後の水やりや追肥などの世話を継続的に担当している。地域の潤いある環境は、生徒とPTA委員らのボランティア活動に支えられている。



【花の苗植えの指導】

## 4 おわりに

大府中学校区のコミュニティは、生徒が地域で豊かな体験活動を行う機会を積極的に提供している。PTA委員がコミュニティに部員として参加することで、地域の行事や活動を支える役割を果たし、多くの生徒が心豊かに成長することにつながっている。

今後も、家庭・学校・地域が、「地域の子どもは地域で育てる」という共通の思いをもって綿密な連携を築き、地域を愛し、地域に愛される生徒を育てていきたい。